慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 横浜市政研究会顧問三宅磐著 都市の研究 |
| Sub Title | |
| Author | 星野, 勉三 |
| Publisher | 三田学会 |
| Publication year | 1909 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.1 (1909. 2) ,p.133- 134 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 新著批評 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090201-0107 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に年り歐洲各國到る處に續發し來れり卽ち製造業は相次ぎて倒產し商工業は日に日に衰へ延いては勞働者の困難を招き殊に農民に誅求したる結果は農民の困窮日に甚だしく其他種々なる弊害破綻は續々として外部に暴露せられ歐洲全土は擧げて混亂の渦中に投せらるゝに至れり玆に於てか個人主義は現はれ右の弊害殊に農民及勞働者の困窮を救はんと欲し大に論じて曰く國家の富强は個人の勤勞に依りて生ずるものなり然るに國家は個人の行爲を束縛し此の國家富强の源泉を杜絕せんと欲す誤なれるも亦甚だしからずや此の如くんば國家の進步は到底望む可らざるのみか遂には破滅に至るべし豈恐れざる可けんや今若し此の窮狀を救はんと欲せば宜しく個人の自由を許し其勤勞を尊重し大に活動の天地を與ふるに如かずと。是れ卽ち個人主義者が價値勞力說を稱ふるに至りし事情なり。

第二に社會主義者は如何なる事由に因りて斯かる學說を稱ふるに至りしやと云ふに是れ亦世人の知る如く十九世紀以來社會は個人主義者の豫期と異なり秩序は亂れ貧富の懸隔は益〻甚だしく富者は無爲無勞にして而かも金殿玉樓に住ひ冬寒からず夏熱からず悠々自適以て其の日を樂む一方に勞働者は粉骨碎身日夜激務に從事するも而かも得る所は僅かに糊口を凌ぐの有樣となりたれば玆に於てか社會主義者は立ち大に此の狀態を憤激し如何にかして彼等を救はんと欲し遂に働勞者に都合好き學說を建つるに至りしなり是れ卽ち社會主義者の價値勞力說を稱ふるに至りし事情也。

論じて玆に來たれば最早や吾人は此の奇なる一致も怪むに足らざる所以を了解し得たり蓋し彼等兩主義者が共に同一の學說を主張するに至りしは彼等兩派の現はれし當時の社會が勞働者救濟と云ふ同一前提を與へたるを以てなり然れども玆に注意せざる可らざることは假令ひ前提は同一なりとも其結論に至りては全然異なれりと云ふことと之れなり卽ち個人主義者は勞力は價値の元なるが故に之れが活動を自由放任して益〻其發達を遂げしむべしと云ひ社會主義者は勞力は價値を生む母なれば勞力者を保護尊重して勞力の結果の全部を勞働者に歸せしむ可しと云ふにあり是れ蓋し前者は國家萬能時代の後に出で後者は個人萬能時代の後に發したるものなればなり。



終りに臨み此の價値勞力說に就て一言せんに此學說は餘りに偏狹極まるものにして到底價値發生の眞因を說くものにあらず何となれば此學說にして可なりとせば苟も勞力を加へたるものは常に値價を有せざる可からざると同時に毫も勞力を加へざるものは如何なるものも價値を有せざるべき道理となる可ければなり然るに實際世上幾多の事實を見るに勞力を加へずして而も價値の發生せる事實あると同時に又勞力を加へたるに拘らず毫も價値の發生せざりし事實あり例令ば先祖傳來家寶として庫中に藏せる大判小判の一朝金價騰貴の結果數倍の價値を有するに至れるが如きは卽ち前者の例にして亦巨額の資本を投じ多大の勞力を加へて開墾事業に從事せるも遂に一大失敗に歸せるが如きは卽ち後者の例なり、更に一步を讓て價値の起因は勞力にありとするも然らば其勞力の價値は如何なる原因に基くものなるかの疑問を生ずべし蓋し勞力其れ自身も亦價値を有す可ければなり論じ來れば此の如く此の勞力說なるものは何れより見るも到底維持すべき說にあらざることを知るべし

（完）

## 新著批評

### 横濱市政研究會顧問三宅磐著

### 都市の研究

顧問のタイトルある人の書いた書物で特に研究と云ふ表題だからドンナ名著かと思つて一讀して見た先づ開卷第一に大隈伯の序文として毒にも藥にもならない樣な事が書いてある由來隈伯は手紙を書いた事がないと云ふのが自慢ださうだ手紙さへ書かない人がドウして本の序文などを書くの理があらうかコンナ僞物と極まつた序文は却て無い方

が宜からう又名士の序文を餌として本を賣るが如きは著者が自身を輕蔑するものでなからうか次には島田三郎、井上友一兩氏の序文があり本文は

第一篇　總說
第二篇　都市の整善
第三篇　都市の開放
第四篇　都市の財政
第五篇　結論

の五部より成り極めて通俗に都市問題の大體を說き特に我邦都市の狀態を說明するに勉めて居る而して此書の大都市は都市の整善卽ち衞生風敎修飾上の設備又は獨占事業、衞生上及び風敎上の取締保護及び救護的設備等に關する說明で占めて居つて糞尿塵埃の處分に關しては委細の說明がある然し乍ら近世都市は何故に膨張するや都市に於ける結婚出產死亡の率は如何又都市に於ける勞働者の狀態は如何等の問題の如きは極めて簡單なるか或は全く說明されてない又財政問題の如き獨占事業問題の如きに關しては最も外國の實例を知るの必要あるに只我國の事實を簡單に述ぶるのみで外國都市との比較の少ないのは頗る遺憾である此の如く慾を云へば限りがないが當時外國の書籍を飜譯しながら自著と稱して得々たる時代に此の如く我國の事情を說明する事に勉めたる著書の出版せらるゝは我輩の大に歡迎する所である（星野生）


財界壹名著を加へたり

慶應義塾大學教授
堀江歸一著

上製背皮全壹冊

財政學

菊判壹千餘頁

定價金參圓　小包料金拾六錢

日清、日露二大戰役の後を承けて、我國の財政は著しく膨脹すると共に其處理に困難を惹起し今や稅法改革、公債整理は國民的大問題と爲り、其解決は國運將來の發展に重大なる影響を及ぼさんとす、堀江慶應大學教授茲に見る所あり、「財政學」の一書を著はし、如上の問題に解決を與へんとす。一千頁の大册の中に最新の學說と內外古今の實例を網羅して遺す所なし。文章の流麗、論斷の明快なるは先生に從來の著書に依りて明なり。特に學者志士實務家必讀すべき近來の好著なり。

發兌　東京日本橋區本石町　東京阪本町　東京阪　東京阪　（振替口座）　寶文館